

CASBEE® 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.8)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	関西電力南大阪営業所	階数	地上5F
建設地	大阪府堺市	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	0人
気候区分		年間使用時間	2,040時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年12月 0.0	評価の実施日	2014年1月15日
敷地面積	3,245㎡	作成者	昭和設計 長柄
建築面積	805㎡	確認日	2010年7月10日
延床面積	3,345㎡	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9 ★★☆☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆ 30% ☆☆☆☆☆ 60% ☆☆☆☆☆ 80% ☆☆☆☆☆ 100% ☆☆☆☆☆ 100%超: ☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	92%
③上記+②以外の	92%
④上記+	92%

(kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.5

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.6

音環境	2.2
温熱環境	2.6
空気質環境	2.4
総合	3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.3

機能性	1.7
耐用性	2.7
対応性	2.7

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

生物環境	2.0
まちなみ	3.0
地域性・	2.5

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

建物の	N.A.
自然エネ	3.0
設備システ	4.7
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

水資源	3.0
非再生材料の	3.3
汚染物質	3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

地球温暖化	3.3
地域環境	3.2
周辺環境	3.2

3 設計上の配慮事項

総合	その他
低炭素都市「クールシティ・堺」の実現を目指す堺市のシンボルロード沿いに建つ営業所として、様々な環境配慮技術を導入し、環境と共生する低炭素ビルの実現を目指す本館に対する附属建屋としての車庫倉庫棟である。建設費用のバランスを考慮し、付属建屋として最低限の環境性能の確保を目指した。また本館と同様に、道路境界部分への植栽や建物の外観にも配慮し、良好な地域環境づくりに寄与できる施設づくりを行った。	特になし。
Q1 室内環境	Q2 サービス性能 壁を少なく計画し空間にゆとりを持たせた。
Q3 室外環境(敷地内)	特になし。
LR1 エネルギー 特になし。	LR2 資源・マテリアル リサイクル資材を利用。
	LR3 敷地外環境 大気汚染物質が発生しないように計画を行った。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建物名称	関西電力南大阪営業所	BEE	BEEランク
	建設地	大阪府堺市堺区熊野町東2丁21~28,30,31,33	0.9	B-
	主用途/延床面積	工場 / 3,345.25 m ²		

2. 重点項目への取組み

重点項目	評価点	取組み度
CO ₂ 削減	3	
省エネ対策	3	
みどり・ヒートアイランド対策	2	
安全快適な暮らし	4	

3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア

CO ₂ 削減	評価項目		スコア	評価点
地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値		3.3	3
省エネ対策	評価項目		スコア	評価点
外皮性能	CASBEE「Q1-2 2.1.3」のスコアによる評価値	建物全体	3.0	3
		住居・宿泊部分	0.0	
建物の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値		0.0	
自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値		3.0	
設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値		4.7	
効率的運用(集合住宅は対象外)	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価値		3.0	
水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価値		3.0	
みどり・ヒートアイランド対策	評価項目		スコア	評価点
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値		2.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価値		2.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価値		2.0	
安全快適な暮らし	評価項目		スコア	評価点
バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1.1.3」のスコアによる評価値		3.0	4
耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2.1」のスコアによる評価値		3.0	
地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3.1」のスコアによる評価値		3.0	
交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2.3.3」のスコアによる評価値		5.0	

4. その他

技術の名称	考慮事項
特に配慮した事項	